

式 辞

澄み切った秋の良き日、「県立広島大学開学10周年記念式典」を執り行うにあたりまして、公私ともご多用にも拘わらず、たくさんのご来賓の皆様方にご臨席を頂きましたことに対し、県立広島大学を代表して心から厚く御礼を申し上げます。

平成17年4月1日、庄原市、三原市そして広島市に水源を発していた3本の流れが、広島県全域を貫流する大河となり、新たな流れの歴史が造られました。県立広島大学の誕生です。

大河が大地の肥沃を産み出すように、私達県立広島大学は、教育、文化、そして産業を育くむ知の創造拠点としての役割を果たすことを最大のミッションとして捉え、「地域に根差した、県民から信頼される大学」を基本理念として掲げ、以来、10年間に亘る歩みを展開して参りました。

さまざまな相克を乗り越えた統合でしたが、結論から言えば3大学統合という選択は良い結果をもたらしたという確信を抱いています。

その実感の確かさは、多くの成果によって実証することができます。

最初に挙げたい成果は、教育に対する一体感と有機的なキャンパス間連携の形成です。統合当初より、新たに設置した総合教育センターにおいて数多くの教員研修活動を行い、教育することの大切さをしっかりと全教職員が共有する活動を実施して参りました。その努力の成果は、昨年度の文科省の教育再生加速プログラム事業である「アクティブラーニング教育プログラム」の採択に結実しています。旧3県立大時代の粘り強く、真摯に勉学に取り組むという伝統的な学生の資質の継承に加え、自ら積極的に学ぶマインドを持った実践力のある学生を社会に送り出す教育活動に邁進しているところでございます。

また、教育と研究のバランスのとれた発達も新たな大学の誇るべきものとして挙げたいと思います。これは、初代学長、赤岡功先生の運営能力に依るところが大きいと確信しています。大学の最終的な役割は教育にあるという信念、そして、その教育力の推進に研究の大切さを説いた赤岡先生の姿勢は、本学教職員における共通認識として現在の学内運営の礎になっています。その実践は、教員数の減少にも関わらず、現在統合前の2倍以上にも着実に増加している文科省からの科学研究費の採択件数、そして、統合初年度80%であった全授業に対する満足度が、授業改善の全学的な努力により、現在は95%にまで達している成果を産み出す力となっております。

そして今、こうして10年を振り返るとき、あらためて感謝を申し上げたいのは、私達

の大学の流れを、絶えず見守って頂いておられる皆様の存在です。私達県立広島大学が10周年を迎えることが出来たのは、3大学統合に舵を切り、その後も本学に寄り添って支えてくださっている同窓会の皆様、率直に教育問題を語り合い、期待を持って本学を支援してくださっている県知事を始めとした設置者である県当局の皆様、そして県議会の先生方、平素より多くの教育・研究での御協力を頂いている他大学学長を始めとした高等教育機関の皆様、地域連携として日頃から多大な御支援を頂いている各自治体、公共団体、金融機関、企業、そしてマスコミ関係者の皆様方のお陰であり、深い感謝の意をこの場をお借りして申し上げたいと思います。

来年4月、マスコミ報道にもありますように本学は、中国地方で初めての経営専門職大学院、いわゆるMBAを開設します。中小・中堅企業、医療・介護、農業、ソーシャル・ベンチャーに重点を置いたユニークなMBA教育プログラムを用意し、地域のビジネスリーダーの育成を設立の目的に据えています。私達は、日本で初めてのこうした分野に特化した経営人材の育成に努め、優秀なリーダー達を地域課題解決のフロンティアに送り込むことこそが、本学の基本理念である「地域に信頼される大学」を実践する上での最大の力となってくれるものと信じています。「これこそ県大に期待していたこと」そして「このようなMBAを構想して頂いた県大を誇りに思う」これはMBAに対する県内のある市長様、そして本学の外部委員から頂いた言葉です。そうした言葉の重みをしっかり受け止め、日本に誇れるMBAとなるように育てて参ります。

この10年を振り返り、オバマ大統領の演説にある We must change to remain the same のフレーズに大学の社会的あり方が濃縮されていることを、しみじみ感じいております。大学は絶えず自己変革をしながら、社会の中に生きていく存在であるということです。「私達大学は社会に生かされている」これは実は、3日前に私から、本学の全ての構成員に伝えたメッセージでもあります。これからも教職員一体となり、この10年の成果を活かし、次の20年、そしてさらなる100年へと社会の中で絶えず成長と変革を遂げる県立広島大学でありたいと思っております。

最後に、皆様にはこれからも私達県立広島大学の流れに、暖かい見守りとご指導を御願ひいたしまして私の挨拶を閉じたいと思います。

平成27年10月3日

県立広島大学学長 中村 健一